

# キャンパスの歴史を展示

## 「学園史展示室」

太田耕造記念館（図書館）の1階東側に設けられている「学園史展示室」のテーマ展示コーナーが7月から「武蔵野キャンパスの軌跡」としてリニューアルしました。

創立75周年（2016年）を機に大幅にリニューアルされた「学園史展示室」では、これまで「常設展示」や「貢献者展示」「映像展示」スポーツの活躍を残したコーナーなどのほか、過去4回にわたってテーマを絞った展示を行っています。この7月からは武蔵野キャンパスの歴史、建物の変化などをテーマとして、再度リニューアルを行いました。入って右側に設けられたそのコーナーには、寮や学食、総合研究館などの写真を中心に展示されています。シンボルにもなっていた総合研究館の時計塔の大きな針も展示されています（写真を参照してください）。

昭和40年代、50年代に完成した建物で今も残っているのは、体育館、5号館（旧図書館）、2号館の階段教室以外の西側の部分、それと興亜神社や第1アジア会館、第2アジア会館だけになっています。メインとなっていた教室棟や旧1号館などはすべて写真でしか見るができなくなっています。

母校やキャンパスの変化、変遷をじっくり見ながら、学生時代を思い出してみたいはいかがでしょうか。

「学園史展示室」は、太田耕造記念館の開館日に準じて開室されています。入場は自由です。

**※写真は、学園史展示室正面のほか、今回リニューアルされたテーマ展示コーナー、歴史をまとめた学園史コーナー、総合研究館の時計塔の針を収めたケースです。**



